

この度北海道支部第62期の支部長を仰せつかりました。微力ではございますが、皆様のご助言・ご助力を賜りながら支部長の重責を果たして参りたい所存ですので、どうぞよろしくお願い致します。

さて、以前から日本は、「経済は一流、政治は三流」と言われてきましたが、ここきて経済も怪しくなってきたように思えます。これはいろいろなことに起因するかと思いますが、経済を支えてきた先端的工業技術に陰りがあることも一因であると感じております。日本は20世紀後半に数多くの革新的技術を創出して経済大国となったのに対し、残念ながら21世紀になって日本発の画期的技術が少なくなってしまうように思います。これは技術が成熟し切ったということもあるかもしれませんが、機械技術者は大いに反省するとともに、学会を中心に産学が連携して、かつてのように高みを目指して革新的な技術開発に挑戦するべきであると思います。また、エネルギーや環境などの問題が顕在化してきておりますが、今後これには政治的判断が極めて重要になるかと思っております。その際に政治家に誤った舵取りをさせないように学識経験者は大いに発言すべきであり、その意味で学会は極めて重要な立場にあるものと思っております。

話は変わりますが、コロナ禍ということで、当支部ではこの1年間ほとんどの行事がオンラインあるいは中止になってしまいました。今後も状況が改善されない限りしばらくは原則として対面行事は禁止という方針が本部から伝えられているようでございます。そんな状況ではあります。支部として可能な限りのことはやって参りたいと考えております。コロナ禍になって1年以上が経過し、オンライン会議に慣れたこともあります。思った以上に有意義な行事の開催が可能であるように思います。とくに当支部のように都市間距離が大きくて、他都市での行事への参加が難しいような場合には、オンライン会議は大変有用なツールであるように思います。ある意味コロナがもたらしたポジティブな点として、今後も生かしてはどうかと思っております。一方で許されることでしたら、対面の行事も大事にして参りたいと考えております。直接お会いしてお話ができることの貴重さをひしひしと感じるこの頃です。

いずれにせよ、皆様からのご意見を伺いながら、この1年支部長の重責を果たして参りたい所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上簡単楚辞ではございますが、支部長就任の挨拶とさせていただきます。